

第9回 総合計画審議会 会議録要旨

1 会議名

第9回 総合計画審議会

2 開催日・出席者等

開催日時 令和2年11月10日（火） 午後4時30分から午後5時30分

場所 須坂市役所庁舎3階 305会議室

3 出席者

(1) 委員

遠藤 守信 委員、高野 健光 委員、寺田 克 委員、西原 秀次 委員、
二タ村 朝比古 委員、永井 康彦 委員、山上 久子 委員、春原 博 委員、
神林 利彦 委員、高橋 洋子 委員、永田 繁江 委員、本藤 浩史 委員、
竹前 美枝子 委員、川口 千春 委員

（欠席）

土本 俊和 委員、遠藤 守 委員

(2) 幹事

副市長、総務部長、健康福祉部長、市民環境部長、社会共創部長、産業振興部長、
まちづくり推進部長、水道局長、消防長、教育次長、議会事務局長、会計管理者

(3) 事務局等

政策推進課長、政策秘書係長、政策推進課職員

4 配布資料

- ・第六次須坂市総合計画・前期基本計画（原案）冊子…【資料1】
- ・第六次須坂市総合計画・前期基本計画について（答申）…【資料2】

5 内容

(1) 開会

政策秘書係長

定刻になりましたので、ただ今から第9回総合計画審議会を開会させていただきます。
事務連絡になりますが、土本委員、遠藤守委員から欠席の連絡をいただいております。川口委員については遅参の連絡を受けていますので報告させていただきます。本日配布の資料については事前送付をさせていただきましたが、【資料2】については本日配布のものと差替えをお願いします。

続きまして、遠藤会長ご挨拶をお願いします。

(2) 会長あいさつ

遠藤会長

委員各位の熱心な議論により総合計画原案も内容がだいぶ深まってきた。審議会委員はもとより市職員も含め計画策定に携わるものの英知が結集されてきている。ワクワク感のある総合計画になってきた。本日は最終審議となるが「画竜点睛を欠く」という言葉にもあるように、計画を完成させるための、最後の仕上げを本日はしっかりとお願いしたい。本日も活発なご意見を期待する。

政策秘書係長

続きまして次第3の会議事項に入ります。

会議事項については遠藤守信会長に進行をお願いしたいと存じます。遠藤会長宜しくお願いします。

(3) 会議事項

① 基本構想・基本計画（案）の確認について

遠藤会長

事務局より概要説明を。

副市長

本日はお忙しい中のご出席に感謝申し上げます。事務局説明の前に一言申し上げさせていただきます。

これまで8回の総合計画審議会を開催させていただき、委員の皆様から多数の貴重なご意見を頂戴いたしました。10月には、市議会からの要望により基本構想審査特別委員会が設置され、委員会の中で原案を市議会に説明し、多数の質問や意見をいただきました。今回、皆様に事前配布させていただきました原案冊子は市議会での質問や要望等を踏まえ、再度、担当課や事務局で必要な修正を行いました。お気付きの点等がございましたら遠慮なくご意見をいただけますと幸いです。

9回目となる本日は、議会意見を踏まえ、修正した最終原案の確認に加え、明日、遠藤会長から市長に答申をいただく予定となっている答申案の検討をお願いしたいと考えております。約1年半かけて総合計画の策定を進めてまいりましたが、本日が最終回の審議会となります。ここまで原案作成が滞りなく進んでまいりましたのも、審議会委員の皆様方のお力添えがあつてのことであり、改めまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。それでは、これ以降、事務局より内容説明を申し上げます。

政策推進課長

－【資料1】について概要説明－

※前回審議会から変更となった主な部分について説明。

遠藤会長

ただ今の事務局説明について、ご質問ご意見等はあるか。

遠藤会長

96ページ「施策27 循環型社会の推進と地球温暖化」の中で「新エネルギー」という言葉が出てくるが、少し前の時代の表現という印象がある。「再生可能エネルギー等」という表現に変更してはどうか。そのほうが新しい総合計画の中で先進性が感じられてよい。

委員

同施策内に何度か「新エネルギー」という表現が出てくるので、計画全体を確認し、一括修正されたい。

委員

計画全般、SDGsのアイコンについて文字が判読しづらい。カラー刷りにした際にはもう少し鮮明になるという理解でよい。もう少し大きく鮮明になるようデザイン頂きたい。

政策秘書係長

成果品はデザインを改めて行った上で見やすい表示としたい。

遠藤会長

92ページ「施策25 自然環境の保全」の現状と課題で表現されている内容につき、生態系保全についてはとても重要である。「市民の理解と協力を得ていくこと」はもちろん必要なことであるが、それに加え、実際に「生態系の保全に努力していくこと」が必要である。ESGの考えにも通ずるところがある。自然が豊かという市の強みをさらに生かす意味でも、この表現についてももう少し進んだ内容となるよう検討されたい。

委員

101ページの「共創のまちづくりに向けた各主体の役割」の活動団体欄について「農地プラン」という言葉がある。正式には「人・農地プラン」だと思うので、誤植であれば修正願いたい。

遠藤会長

総合計画冊子について、最終的にはカラー印刷となるのか。また、市民に対しては全戸配布を予定しているのか。

政策秘書係長

表紙についてはフルカラー、中身についてはカラー2色刷りを予定している。市民への周知は全戸配布ではなく、広報須坂での特集という形で周知を考えている。

遠藤会長

計画策定の中で市内高校生の意見もアンケートで聴取したと思うので、冊子が出来上がったらずいぶん市内高校にも配布いただきたい。

② 答申案の検討について

遠藤会長

事務局より説明を。

政策推進課長

－【資料2】について概要説明－

遠藤会長

何かご質問やご意見等はあるか。

委員

答申案に「今後」という言葉が繰り返されているが、意味の伝わる範囲で削ったほうがよいのではないか。

遠藤会長

削除で対応されたい。

委員

各施策に紐づくSDGsアイコンについては、委員での確認をしていないが、対応についてはきちんと確認いただいているという理解でよいのか。

政策推進課長

17のゴールと169のターゲットを意識して紐づけを行っている。

遠藤会長

施策担当課でそういった確認や議論があったことが大切。また、答申案にはSDGsという文言の後に「持続可能な開発目標」という文言を括弧書きで挿入したらよいと思うがいかがか。

政策秘書係長

SDGsの部分（施策との対応も含めて）再度内部で確認を行いたい。本日お示ししているものとの整合で疑義等があれば委員の皆様からも遠慮なくご指摘いただきたい。

遠藤会長

SDGsは意識の問題なので、分類や施策との紐づけは厳格ではないが、事務局で再度点検願いたい。私たちは水の研究をしているが、例えばジェンダー問題と関係が全くないとは言えない。できるだけ拡大解釈をして広く捉えることが重要。

委員

答申案の中で「成熟した社会」という表現に若干の違和感がある。ネットの普及などプラスの影響に成長してきた部分もあるが、心の問題などマイナス部分の影響もあるので、「取り巻く環境が大きく変化した」などの表現のほうが適切か。「成熟した」という表現は判断が入ってしまうため、別の言葉で置き換えたほうがよいのでは。

遠藤会長

「社会や技術が大きく変化した」などの表現でいかがか。利便性の享受というプラスの影響もあったが、その裏で弱点や新たな脅威（災害やウイルスなど）も多く見えてきたというようなニュアンスで。最終的に事務局で検討されたい。

政策推進課長

会長からご助言いただいた内容を踏まえ修正を行うとともに、その前後の文書も合わせて整えるようにしたい。

委員

答申案で「役割と責任を全うする」という表現が強すぎる印象がある。もう少し柔らかくして「責任を果たす」などのほうが良いのではないか。

遠藤会長

確かに言葉として強い印象がある。「役割と責任を尽くす」、「役割と責任を果たす」などでよいのではないか。多少、文章のニュアンスが変わってしまってもいいので、少し柔らかめの表現に修正されたい。

また、本文も切磋琢磨することと協力することは微妙に違うので、「切磋琢磨し」また、「協力する」というほうがいい。

委員

答申案の本文「思われる」という表現があまり適切でないような気がしている。

遠藤会長

「思われる」という主観的な表現は全て削除してよいのではないか。「計画を推進し

てきた。」というような表現に言い換えされたい。

政策推進課長

委員の皆様の総意として「言い切り」の形でよければ、会長からご指摘のあったとおりの表現で修正を行ってまいりたい。

委員

「あらゆる主体が切磋琢磨し役割と責任を果たす「共創」による総合計画の推進」の本文中にある「多様性」という表現が違和感。「特徴」でよいのではないか。

また、「チャレンジ指針（継承・進化・学びと行動）を意識した計画の推進」の本文で、須坂市の強みや魅力を磨き継承していく視点が書かれているが、「みんなで育て」という文言をぜひ入れて欲しい。

遠藤会長

「他にはない」と「見つけ」という表現を削り、「みんなで育て」という文言を挿入するようにしたい。だいぶ良い答申書の文章になってきた。血が通っていて大変よい。答申書の本文は冊子に入ってくるのか。

政策推進課長

冊子の中で答申内容はそのまま掲載させていただく予定。

さきほど委員からあった「多様性」という表現はどのように考えたらよいか。事務局では「特徴」とは違う意味で理解し使わせていただいているがどうか。

遠藤会長

SDGsの観点からすると、あえて「多様性」という言葉を使用したことには価値がある。このままの表現を採用してまいりたい。

以上で、事務局へ進行を戻します。

副市長

最終回ということで一言委員の皆様に御礼を申し上げたい。9回にわたり熱心に議論を重ねていただいた。アンケート調査やパブリックコメントをはじめ、多様な意見をいただいた。いただいた意見を答申の中にしっかり反映いただいた。素晴らしい総合計画案が出来上がったのではないかと考えている。今後この答申を踏まえ、見やすい形での冊子として整えていくことになる。

明日は遠藤会長から市長へ答申を行っていただく予定。総合計画にうたっている将来像を目指し、市民共々しっかり頑張ってまいりたい。絵にかいた餅にならないよう、市民の皆さんと一丸となって将来像を実現していくことが最重要と考えている。

委員の皆さんには長きにわたり、お世話になりましたことに感謝を申し上げます。本来にありがとうございました。

(4) 閉会

政策秘書係長

以上をもちまして、本日の会議はこれにて閉会とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。